

令和元年度 協働型学校評価結果

〈2019.12実施〉

令和元年度 協働型学校評価保護者アンケートの結果報告について

令和元年度の協働型学校評価（令和元年12月実施）において、保護者の皆様から、144枚のご回答を頂きましたことに感謝申し上げます。皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は、学校評議員並びに学校関係者評価委員会、学校運営反省等で取り上げ検討させていただきました。来年度の教育活動に反映させてまいりたいと考えております。そして、来年度も更に将監西小学校の児童が「あふれるあいさつ あふれる思いやり あふれる笑顔 ～あいさつ+1で笑顔あふれる学校・家庭・地域に～」の目標の下、伸び伸びと健やかに成長できるように努力してまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

校長 小松 英明

1 保護者アンケートについて

あいさつについての項目では、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計は以下のようになっています。

あいさつについて（保護者アンケート） 令和元年度協働型学校評価結果 P1参照

- ①「ご家庭では、あいさつについて、お子さんと話したり、話題にしたりしていますか。」
【AB：70.5%】
- ②「ご家庭では、お子さんが気持ちのよいあいさつができたとき、褒めて励ましていますか。」
【AB：72.2%】
- ③「身近な大人として、あいさつの仕方について、よき手本となっていますか。」
【AB：72.9%】
- ④「ご家庭ではあいさつ+1（あいさつに一言添える）に取り組んでいますか。」
【AB：44.6%】

あいさつの項目では、いずれも70%を超えています。特に②「ご家庭では、お子さんが気持ちのよいあいさつができたとき、褒めて励ましていますか」の項目では、A「できている」が34.9%と他の2つの項目より多くなっています。あいさつに関する家庭での意識も浸透してきていると思われます。

④「ご家庭ではあいさつ+1（あいさつに一言添える）に取り組んでいますか。」の問いには、は、ABの合計は44.6%でしたが、記述欄を見ると、「あいさつ+1を行い、親子の会話が増えた。」等、具体的な取組の様子が数多く記述されており、家庭での取組は意識されてきているように思われます。今回記述のあった具体的な各家庭での取組を紹介し、更にあいさつ+1を進めていけるようにしていきたいと思えます。

思いやりについての項目では、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計は以下のようになっています。

思いやりについて（保護者アンケート） 令和元年度協働型学校評価結果 P1参照

- ①「ご家庭では、思いやりのある言葉遣いについて、お子さんと話したり、話題にしたりしていますか。」
【AB：87.8%】
- ②「ご家庭では、お子さんが思いやりのある行動ができたときに、褒めて励ましていますか。」
【AB：84.9%】
- ③「身近な大人として、言葉遣いや思いやりのある行動のよき手本となっていますか。」
【AB：63.8%】

②「ご家庭では、お子さんが思いやりのある行動ができたとき、褒めて励ましていますか。」の問いでは、A「できている」が56%と高い割合を示しており、ご家庭でも子供たちを褒めて励まして育てる意識が浸透してきていると思われます。

③「身近な大人として、言葉遣いや思いやりのある行動のよき手本となっていますか。」では、Aが12%なのは保護者として自分に厳しい選択なのかとも思われますが、AB合わせて63.8%となっており、多くの保護者の皆様が、子供たちに自ら率先して手本となる取組を進めていただいていることが伺えます。

2 児童アンケートについて

あいさつについての項目では、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計は以下のようになっています。

あいさつについて（児童（全体）アンケート）令和元年度協働型学校評価結果 P12参照

- | | |
|--------------------------|------------|
| ①「あいさつ＋１ができましたか。」 | 【AB：73.4%】 |
| ②「学校では進んであいさつできましたか。」 | 【AB：89.4%】 |
| ③「家族に進んであいさつできましたか。」 | 【AB：91.9%】 |
| ④「地域の人たちに進んであいさつできましたか。」 | 【AB：71.4%】 |
| ⑤「笑顔であいさつすることができましたか。」 | 【AB：71.9%】 |

低学年・中学年では①「あいさつ＋１ができましたか。」の問いで AB の合計が90% 近くになっており、高学年では AB の合計が40%と低くなっています。

全体として AB 合わせて7～8割ができているという回答となっています。特に、③「家族に進んであいさつできましたか。」では A「できている」が64.3%と家庭でのあいさつの意識の高さが見られます。⑤「笑顔であいさつすることができましたか。」の項目では、AB の合計で、低学年が92.0%、中学年が72.5%、高学年が53.0%と低学年から高学年に向かうにつれて数値が低くなっています。

低学年であいさつができた理由を見ると、「あいさつをすると気持ちがよいから。」「みんなが笑顔になるから。」といった気持ちの記述が多く、できて褒められたことが印象に残っているように思われます。中学年になると、できた理由は低学年と同じものが多いのですが、できない理由として、「恥ずかしい気持ちがあるから。」「人に声を掛けるのが難しいから。」といった記述もありました。高学年になると、できた理由として、気持ちの面に加えて、「あいさつは大切だと思っているから。」といったように、あいさつが大事な理由を考えている児童もいました。できなかった理由として、「恥ずかしいから。」や「あいさつしても返されないから。」「機会がない。」等のできない理由の記述が多くなっています。高学年の児童はあいさつの大切さやあいさつ＋１の意味を最も理解しており、その難しさも感じていると思われます。高学年の児童があいさつやあいさつ＋１の大切さを下学年に自分たちで訴えたり、活動を進める機会を作ることも進めていきたいと思えます。また、中・高学年の児童には、恥ずかしい気持ちを乗り越えられるよう、教職員、保護者、地域の方々から、子供たちに向けて率先してあいさつ、あいさつ＋１を行っていくことも必要と思われます。

親切・思いやりについての項目では、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計は以下のようになっています。

思いやりについて（児童（全体）アンケート）令和元年度協働型学校評価結果 P12参照

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| ①「『ふわふわことば』を使うことができましたか。」 | 【AB：84.9%】 |
| ②「学校では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。」 | 【AB：85.4%】 |
| ③「家では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。」 | 【AB：80.9%】 |
| ④「地域の人たちに、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。」 | 【AB：77.9%】 |

親切についての項目について、全体として約8割の児童ができたと回答しています。親切にできた理由として、低学年では「みんなが喜んでくれるから。」「相手も親切にしてくれるから。」「親切にしたら気持ちがいいから。」といったものが多く、高学年になると、「相手の気持ちを考えて接することができた。」といった回答も見られました。できない理由として中学年や高学年では「相手の気持ちを考えることができなかった。」という回答が見られました。本校では縦割り活動や異学年交流を行っていますが、これらの活動を通して「相手の気持ちを考える」機会、親切や思いやりを発揮する機会を更に増やしていきたいと考えています。

自分のことについての項目では、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえ
ばできている」の合計は以下のようになっています。

自分のことについて（児童(全体)アンケート） 令和元年度協働型学校評価結果 P13参照

- ①「自分にはよいところがある。」 【AB： 76. 4%】
- ②「今の自分が好きだ。」 【AB： 68. 9%】
- ③「先生は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。」 【AB： 82. 9%】
- ④「おうちの人は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。」 【AB： 88. 4%】
- ⑤「地域の人は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。」 【AB： 67. 4%】

高学年では、①「自分にはよいところがある」の項目でAを選んだ児童が23. 5%
いるにもかかわらず②「今の自分が好きだ」の項目でAを選んだ児童が5. 9%と低く、AB
の合計でも50%と低くなっています。高学年は、自分に厳しく評価する傾向にはありま
すが、このことは、高学年では今の自分を否定的にとらえている児童、現状を何とかし
たいと考えている児童が数多くいると思われま

す。中
学年では、①「自分にはよいところがある。」の項目でAを選んだ児童が52. 2%、
②「今の自分が好きだ。」の項目でAを選んだ児童が40. 6%と高くなっています。中
学年では、③「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」でAを
選んだ児童が63. 8%、④「おうちの人はあなたのよいところを認めてくれていると思
いますか。」でAを選んだ児童が72. 5%と多くなっており、周りから認められている
と感じている児童が多いことが今の自分を肯定的にとらえていることにつながっていると
考えられます。

中
学年の結果から、児童の良さを認め、褒めて伸ばしていく働きかけが有効と思われま
す。高学年では、要求されることが多く、低・中学年に比べ褒められる機会は少なくなっ
ています。高学年においても、良さを認め、褒めて伸ばしていく活動を進めていくことが
必要と考えられます。また、「今の自分が好きだ。」と考えられるように、よりよい自分、
よりよい活動を目指していけるよう、個々の目標や集団での目標を設定し、実現に向けて
支援していくことも進めていきたいと思

います。学
校では、今年度「プラスワンの日」を設けて学校、家庭、地域で子供たちに「あいさ
つ+1」を行なうことを呼びかけました。子供たちは、家庭、学校、地域の順で自分た
ちの良さを認めてもらっていると回答しています。今後も学校、家庭、地域の協力の下、大
人たちが子供たちに声を掛け、褒めて育てる取組を地域にも更に広げていけるよう進めて
いきたいと思

3 地域アンケートについて

12月に行った地域アンケートでは、20枚の回答をいただきました。

質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえ
ばできている」の合計は以下のようになっています。

地域での働きかけ（地域アンケート） 令和元年度協働型学校評価結果 P18参照

- ① 大人から子供に、積極的にあいさつの言葉を掛けていますか。 【AB： 90%】
- ② 子供のあいさつに大人も応え、よいあいさつを褒めていますか。 【AB： 90%】
- ③ 子供たちが地域の活動や行事に参加するように働きかけていますか。 【AB： 85%】
- ④ 子供が、思いやりのある行動ができたとき、褒めていますか。 【AB： 90%】

地域アンケートでは、どの項目も、A「できている」、B「どちらかといえ
ばできている」の合計が85%~90%という、高い数値の回答になっています。記述欄を見ても子供た
ちに向けてよく働きかけていただいていることを感じ取ることができました。

4 職員アンケートから

あいさつについて、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえ
ばできている」の合計は以下のようになっています。

あいさつを改善する取り組み（職員アンケート） 令和元年度協働型学校評価結果 P20参照

- ① 望ましいあいさつの仕方を指導していますか。 【AB： 100%】
- ② 児童がよいあいさつができたとき、褒めて励ましていますか。 【AB： 100%】
- ③ 自らあいさつ+1を実施し、児童の良き手本となっていますか。 【AB： 100%】
- ④ 児童の頑張りや良さを見取り、職員間で共有することができましたか。 【AB： 83. 3%】

職員アンケートの項目では、あいさつについて、①～③の項目で、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計が100%とあいさつ+1、挨拶の指導について、褒めて励ます指導が意識して行われていると言えます。

思いやりについて、質問に対して、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計は以下のようになっています。

思いやりのある言葉遣いや行動に向けた取り組みについて(職員アンケート)

令和元年度協働型学校評価結果 P20参照

- ① 思いやりのある言葉（ふわふわ言葉、敬語の使い方等）について指導していますか。
【AB：94.4%】
- ② 児童に思いやりのある行動が見られたとき、褒めて励ましていますか。
【AB：94.5%】
- ③ 思いやりのある言葉遣いや行動について、児童の良き手本となっていますか。
【AB：94.4%】
- ④ 児童の頑張りや良さを見取り、職員間で共有することができましたか。
【AB：88.8%】

親切・思いやりの項目でも、A「できている」、B「どちらかといえばできている」の合計がいずれも94.4%と、あいさつと同様に意識して指導が行われていると言えます。

5 協働型学校評価の結果を受けて(職員検討会から)

○児童アンケートから(相関があると考えられる項目)

- ・あいさつ+1をしている。⇨学校で進んであいさつをしている。
- ・あいさつ+1をしている。⇨笑顔であいさつをしている。
- ・あいさつ+1をしている。⇨ふわふわ言葉を使っている。
- ・学校で進んであいさつをしている。⇨笑顔であいさつをしている。
- ・学校で進んであいさつをしている。⇨学校で親切にしている。
- ・笑顔であいさつをしている。⇨ふわふわ言葉を使っている。
- ・笑顔であいさつをしている。⇨学校で親切にしている。
- ・家で親切にしている。⇨今の自分が好きだと感じている。
- ・学校で親切にしている。⇨ふわふわ言葉を使っている。
- ・自分には良いところがあると感じている。⇨今の自分が好きだと感じている。
- ・先生は認めてくれていると感じている。⇨自分には良いところがあると感じている。
- ・先生は認めてくれていると感じている。⇨地域から認められていると感じている。
- ・先生は認めてくれていると感じている。⇨学校で親切にしている。

○令和2年度に向けて、「関わりの中で、共に学び、共に育つ」という目標を具現化するための具体的な方策

【あいさつについて】

- ・名前を覚えてあいさつができるような、異学年交流の場を設ける。
- ・「プラスワンの日」を校内で設定する。(1の付く日など)
- ・委員会活動の一環として、児童の声で「プラスワンディ」、「あいさつ+1」励行のアナウンスをする。
- ・あいさつ運動に、計画委員会以外の児童にも呼びかけて取り組ませる。
- ・朝の会などで互いに聞き合う活動を通して、意図的に「あいさつ+1」をする経験を重ねる。

【親切・思いやりについて】

- ・朝自習の時間や体育、音楽の時間などに目的を持たせて異学年交流を行う。
- ・「たてわりそうじ」や「交換そうじ」を行う。

【自己肯定感を高める取組について】

- ・先生が児童を認めたり、児童のよい行動を受け止める場面を用意する。
- ・掃除などの活動について、上学年が下学年のお世話をしている場面をとらえ、「皆のおかげでできるよ、できたよ」と褒める活動を進めていく。
- ・友達の良いところをカード等に記入し、その子に渡し個々のよいところを蓄積し、記録や掲示をするなどして、自分のよさに気付かせる。

令和元年度 協働型学校評価結果 〈2019.12実施〉

【保護者アンケートより】 回答数144 回答率70.6%

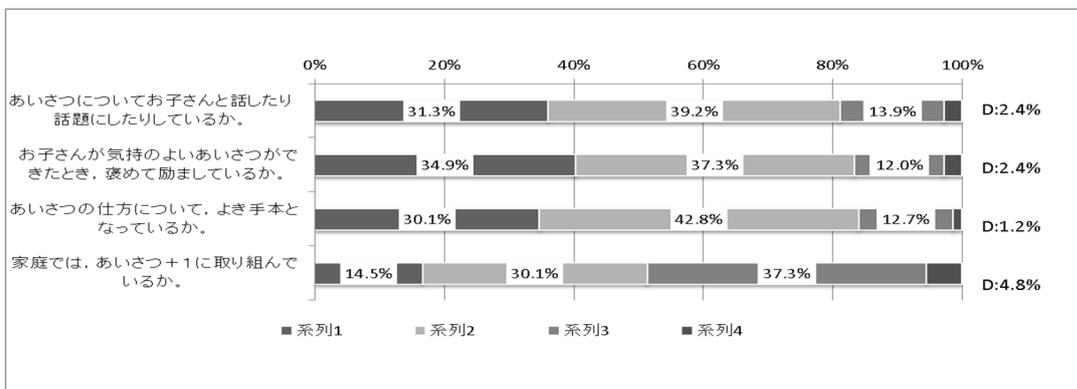
(昨年度83.4%)

協働型学校評価目標 「あふれるあいさつ・あふれる思いやり・あふれる笑顔

～あいさつ+1（プラスワン）で 笑顔あふれる学校・家庭・地域に～

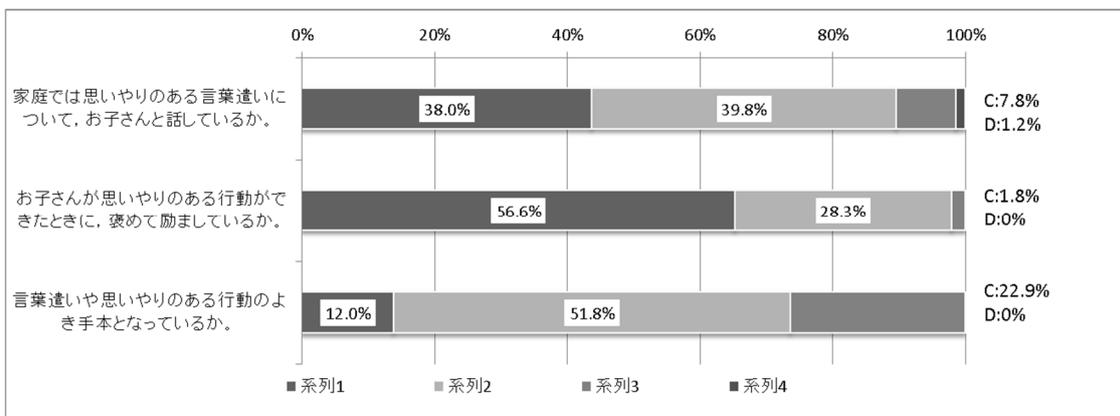
あいさつについて

- 1 ご家庭では、あいさつについて、お子さんと話したり、話題にしたりしていますか。【AB：70.5%】
- 2 ご家庭では、お子さんが気持ちのよいあいさつができたとき 褒めて励ましていますか。【AB：72.2%】
- 3 身近な大人として、あいさつの仕方について、よき手本となっていますか。【AB：72.9%】
- 4 ご家庭ではあいさつ+1（あいさつに一言添える）に取り組んでいますか。【AB：44.6%】



思いやりについて

- 1 ご家庭では、思いやりのある言葉遣いについて、お子さんと話したり、話題にしたりしていますか。【AB：87.8%】
- 2 ご家庭では、お子さんが思いやりのある行動ができたときに、褒めて励ましていますか。【AB：84.9%】
- 3 身近な大人として、言葉遣いや思いやりのある行動のよき手本となっていますか。【AB：63.8%】



〈保護者アンケート(記述)から〉

あいさつについて

・朝「いってらっしゃい、無事に学校にたどり着いてね。」など必ず一言添えるようにしています。家族の前では恥ずかしいようで一緒に歩いているときにはもじもじしていたのですが、一人一人に通学するときはちゃんと近所の人にあいさつしているようです。

・一緒に歩いている時、親の私から知らない人に対してもあいさつする姿を見せています。

・近所で違う学年の男の子がいるのですが、「こんにちは、今日も元気だね。」「こんにちは、ボール投げいつも上手だね。」など声掛けするようにしてより仲良くなっています。

・近所の人などに会ったとき恥ずかしがらずにあいさつしようねと声掛けしています。

・最近では大きな声であいさつができるようになってきたと思います。

・朝迎えに来てくれる友達に一声かける。

・誰にでも大きな声であいさつができています。ほかの子供からされても気持ちが良いです。

・主人が学校のプリント全て目を通すことができないので、子供を巻き込んで、お便りの出来事を子供から主人に伝えるような話し方をしています。

・本校の活動や外部の活動に積極的に参加したくさんの方と会って親が積極的にあいさつやコミュニケーションを取る。

・登校中近所の方に会ったときなど「おはようございます。」などのあいさつをするように日ごろから言い聞かせておりますがプラスで一言添えることが難しいようです。大人でもなかなか難しいことですので親子で共にプラスワンを実践していきたいと思います。

・褒めて、褒めちぎる。ハグしている。

・通学路や近所であった方にあいさつするように毎朝伝えて送り出している。帰ってきてから会った人にあいさつしたか聞くと「したよ。」と言ってくるのでできていると思っています。

・あいさつは大事なことなので特になし。

・まずは基本のあいさつお礼をしっかり相手に聞こえるように言うこと。プラスワンはできたらもったいいね。としていました。

・子供が気になっている事について勇気が出る言葉がけや元気になれるような言葉がけをしたりしている。気持ちが乗らない時でも、がんばって行動させ、結果、「良かった!」となるので、まずはあいさつ+元気な声と姿で声掛けをする。

・「おはよう」と笑顔で元気にするように取り組んでいて、1日が気持ちよく過ごせているように思います。

・子供はいつも「ごちそうさまおいしかったです。」と言ってくれます。あいさつにプラスワンがあるとやはり嬉しいので私も「行ってらっしゃい。気をつけてね。」とか「おかえり。今日は何が楽しかった。」などと一言付け加えるようにしています。

・朝起床時に「よく眠れた?」と親から聞くようにしています。子供からは「よく眠れたよ。夢を見たよ。」との会話につながっています。

・あいさつをされるとどういう気持ちになるか、される側の気持ちになって考えたり、一緒に出かけるとき大人が見本を見せるよう心がけました。

・あいさつは以前よりできるようになりました。「あいさつプラスワン」まではまだできていないようなので褒めて励ましていきたいです。

・息子は近所の方に大きな声でハキハキとあいさつができており、ゴミ出しの時や通りすがりで「あいさつがきちんとできてえらいね。」と褒められることが多々あり、親として大変嬉しく思っています。

・元気にできたときは褒めることを忘れずに。声が小さかったら「あら、聞こえないかな?」などと言うようにしています。「おはよう。」の後も「今日も元気かな。」など一言を忘れずに言うようにしてみました。

・自分から積極的に行動するようになりました。

・子供自身もあいさつをしたいと言って生活しています。しかし勇気が出なかつたり人が去った後「本当は〇〇を言いたかった。」等あと1歩のところです。「今度一緒に言おうね。」と言ったり親がプラスワンの見本を見せる場をどんどん作っていきたくたいです。

・あいさつの後は「今日は寒いね。」(あったかいね)や昨日のテレビの話などちょっとしたことを話できると自分も相手も楽しくなるよ、と話しています。

・あいさつの後に何かしらの愛情や思いやりの行動をする。

・あいさつはきちんとすることを大切にして取り組みました。

- ・あいさつは日常のことなので特に取り組みはしていません。目を合わせてあいさつをするように心がけています。子供が学校への登下校であいさつプラスワンした話など話題として話す事はありません。
- ・朝登校時にはあいさつ+姿が見えなくなるまで(曲角)温かく見送ること。夕方は母の方が帰りが遅いが「我が子から今日もお疲れさま。」と言ってもらえ和みます。子の方からプラス一言添えられることがあり目標に近づいていることを感じています。
- ・意識的には言えませんがあいさつプラスワンで声をかけると良い反応が返ってきます。
- ・子供からのあいさつプラスワンの声掛けをもらう事は無いので親として関心を持って取り組むべきでした。
- ・元気にあいさつをすることについては褒めたり注意してきたりしたつもりですが、あいさつプラスワンとなると積極的に取り組んでいませんでした。
- ・帰宅時は親も子も忙しいから、「ただいま。」から「行ってきます。」と習い事に行くことが多いです。そのためか「おやすみなさい。」から今日はあった出来事を思い出して話してくれるのでよく話を聞いてあげるようにしています。毎晩では無いですが、「おやすみなさいプラスワン」を心がけています。
- ・「常識的な最低限のあいさつは絶対です。」と言うことを守らせました。
- ・あいさつプラスワンの日は、子供の方から取り組んでおりとても良い取り組みだと思いました。
- ・「おはよう。」を笑顔で元気にするように取り組んでいて一日が気持ちよく過ごせているように思います。
- ・近所の方には恥ずかしい気持ちがあり、小さい声でのあいさつなのでもう少し相手に聞こえるようにあいさつができるように声掛けをしています。できれば目も合わせて行けたらと思っています。
- ・例えば、「おかえりー今日は学校で何してきたの。」「お休みしたお友達はいた。」など一言添えています。子供もそれに応えてくれるので親子の会話が増えていると思います。
- ・照れが出てきてあいさつができない、声が小さくて聞こえないと言うことがたまにあるので・・・。あいさつができないことの方が恥ずかしいとよく言っています。プラスワンは私も今気をつけているところです。
- ・最低限のあいさつは絶対しましょう。当たり前のことですが「ありがとう。」「おはよう。」等あいさつについて。
- ・特にありませんが日々勉強親子共々必要かと感じます。
- ・学校から帰ってきたときに「おかえり今日は学校楽しかった？何してきたの。」など会話しています。
- ・外食した際お店の方に「ごちそうさまでした。」と言ってから出てくる。必ず大きな声で言えるようになった。
- ・子供(小学生)中心にあいさつをしながら何か一言言葉をかけることを意識するようになりました。また大人同士も同様にあいさつは大切だと感じています。
- ・子供が気にしている事について勇気が出る言葉がけや元気になれるような言葉がけをしたりしている。気持ちが乗らない時でもがんばって行動させ結果良かったとなるのでまずはあいさつ+元気な声と姿で声掛けをする。
- ・意識してプラスワンをしているのか分かりませんが、会話の流れでプラスワンは常にどこかにあるものと思っています。
- ・気温や天気について(服装や靴や傘等も)話している。
- ・何も取り組んでおりません。
- ・明るい前向きな声掛けをする。
- ・子供は6年生になってよりしっかりあいさつができるようになってきたように思う。年頃のせいかわ、照れもあるのか目を見てあいさつはできない時があるので今後はできるようになれば良いと思う。
- ・外食した際にお店の方へ「ごちそうさまでした。」と言うように心がけていたら、最近では当たり前のように子供たちも言うようになった。
- ・会話の始まりとしてプラスワンは大切だよと言う話はしていますが、思春期に入りなかなか本人には難しいようです。
- ・地域の人にあいさつしてから天気の話などをするようにしています。
- ・とにかくよくしゃべるようにしていた。

思いやりについて

- ・妹と犬がいるのでこの二人に対して横柄な態度を取ったりしたら注意するように心がけています。姉妹間で喧嘩になるとつい強い口調になるので、自分が同じ言い方をされてうれしいか悲しいか、と言う事は伝えています。
- ・ちくちく言葉を使うことがたまにあります。その際は言われた方はどういう気持ちになっているか伝え、自分自身を考えて貰います。
- ・優しくできたときは褒めて、褒めて、感謝を伝えるようにしています
- ・私が仕事のクレーム対応で疲れて帰ってきたときに、娘はすぐ様子に気がついてずっと励ましてくれました。「お母さん大丈夫だよ。」と母を気遣う姿に心がだいふ成長したのだなと実感しました。
- ・いつも相手の気持ちを考えて行動しようねと話をしています。少しずつ思いやりのある行動が増えているように感じます。
- ・「困っている人や助けて欲しい人がいたら手を差し伸べてあげられるといいね。」と伝えているが、「やっているよ。」と言われ今後どのように伝えていくか悩んでいる。
- ・1日の最後に「ありがとう。」と感謝の言葉を毎日伝える。
- ・困っている人や助けが必要な人のお手伝いをしてあげられる人になってほしいと伝えている。
- ・何かしてもらったときなどは自分から「ありがとう。」と言えるようになってきた。
- 褒めて。ハグしている。
- ・嫌な言い方になったときは気をつけるよう話し合います。
- ・身近に起きたこと世の中で起きている事柄について、「思いやりがあれば」と言う話はよく話題にします。
- ・自分が相手の気持ちを考えられるよう、「〇〇されたらどう思う？」か、常に考えさせるようにしている。
- ・嫌な言い方になった時は気をつけるよう話し合います。
- ・お母さんが子供たちにされてうれしかったことなど良かったことを表にして具体的に書いて冷蔵庫に貼っています。書き込んでいるのを見て子供たちがうれしそうにしているの、されてうれしい事はどんなことなのか分かってきているようです。他の人にも優しい気持ちで行動してくれればと思います。
- ・親戚がいるので施設に連れて行く。友達との話携帯ゲームの話をよく聞くオープンにし、親が見られるようにし、聞いてあげ、相手はどう思うかとか、何通りも思いはあることを話すこともある。
- ・飼っている動物のお世話をしっかりしてもらう。
- ・最近のいじめ問題などありますので十分に話しております。本人も、もじもじと言い出せないところもあるようで、素直に行動できるように日ごろから意識を持たせるように心がけたいと思います。学校での出来事を聞いたりニュースの話聞いて「こういう事はだめだね。」「こういう時はどのようにする。」「相手はどうだろう。」ということ家族で話し、そのような場面にあったときには「こうだよ」と言う話を聞いて褒めたりしている。
- ・小さい事でも、思いやりのある行動したときには褒めるようにしています。
- ・テレビなどで汚い言葉を耳にすることも多く、たまに真似していたりするときには注意しています。
- ・「なぜ」そうしたのか、様々な事柄について振り返ったり、話をしたりするようにしています。
- ・思いやりのある言葉遣いを姉妹間でしてほしいと訴えていましたが、けんかばかりするので親としては怒ってばかりだったなあと反省しています。まずは身近な大人として言葉遣いや思いやりのある行動の良き手本となっている、を心がけていきたいです。
- ・子供から「そんなにきつく言わなくて。」と言われることがあり、怒るのではなくきちんと説明したりしなくては、と反省しています。息子は「お疲れさま。」「ありがとう。」「ごめんね。」と優しく言ってくれることがあり、ふわふわ言葉をかわいい声で掛けてくれるので見習いたいと思っています。
- ・他の人に優しくできたことを話してくれた時はたくさん褒めるようにしました。
- ・そういう行動した時は必ず「ありがとう助かったよ。」と褒めるようにしています。とてもうれしそうにしています。
- ・常に相手の立場に立って、言われたらどういう気持ちになるかを考えさせています。
- ・家族同士でも「ありがとう」をちゃんとやっている。空き缶やゴミなど道端で見つけたときには一緒に拾っている。

- ・家で学校での出来事を聞くとき、よかったことやそれは思いやりのある行動だったと言うことを過剰に褒めるようにしています。
- ・相手の気持ちを考えること。自分が嫌だなあと思った事は相手にもしないこと。
- ・毎日家族で今日何したと話し合い、楽しかったことや嫌だったことを話して嫌だったことに対して解決策を考える。
- ・1日の最後にありがとうと感謝の言葉を毎日伝える。
- ・自分よりも小さい子に優しくしたときに褒める。
- ・「ありがとう。」「ごめんなさい。」がしっかり言えるように声をかけています。相手の気持ちになること。
- ・小さな事でもありがとう助かったなどの声をかけるようにしています。
- ・学校での友達との関わりの様子などを聞く中でちょっとしたことでも良い行動をとっていたと感じたときには認め褒めるようにしています。
- ・言葉遣いは気にかけて指摘するように心がけました。少しずつではありますが本人も気をつける気持ちが育っているようには思えます。
- ・学校での出来事、家庭内でのささいなやりとりでも気になる言動・行動に気付いたら必ず「自分だったらどう思うか。」「どうすれば嫌な気持ちにさせられずにいれたか。」を考えさせるようにしている。
- ・妹がいるので4歳離れている妹に対して妹の立場になってこうしたかったのと教えてあげたり、時々やり方をメモに書いてあげているときは優しくしていると感じて2人きりの時に褒めます。
- ・相手のことを褒めてあげる。
- ・小さい事でも思いやりのある行動したときには褒めるようにしています。
- ・お友達が何かの場面で一人ぼっちにならないように周りに気を配るように話をしています。子供ができないことに関して一緒に取り組んでできた事は褒める。それをお友達にもしてあげられたらいいと思います。
- ・自分がされたらどうかと考えるよう話していますがなかなか難しいです。
- ・忙しくても体を休めて子供の話を聞くようにしています。
- ・自分がされて(言われて)嫌なことは人にもしない(言わない)。自分がしてほしい、言ってほしいことを人にするように話しているつもりです。
- ・よくできたことを褒めてあげるようになりました。
- ・「自分が言われたら嬉しい言葉をお友達に言おうね。」「兄弟間でも気をつけようね。」と声をかけていました。
- ・兄弟や困っている人に自ら声をかけるようにしていた。姉妹への「大丈夫？」が増えた。
- ・子供の話を今まで以上に聞くようになったと思います。そのことをよりよく次につなげられるようにちょっとしたアドバイスを伝えるように取り組んでいます。
- ・本を読んだりテレビで見て良いと思ったことを子供にも見せたり、話して、そのような思いやりのある行動ができるようになってほしいと話しています。
- ・子供が自発的に家族に対して思いやりのある行動をしてくれた際には「ありがとう。」の言葉を伝えたり褒めたりしている。
- ・子供の気持ちを聞くようにする。
- ・下の学年の子に優しく接している様子で成長しているなど思う。そういったところは大いに褒めて自信になってほしいと思う。
- ・まずは身近な家族への思いやりができるように取り組んでいて自然と周囲にも思いやりのある行動ができるようになっていく。

自由記述欄

- ・校長先生の、「自己肯定感を持つことの大切さ」を心に留めています。
- ・「もみじタイム」の活動はいろいろな学年が交流できとても良いと思います。
- ・ふわふわ言葉がよいと思います。
- ・本年度も大変お世話になりました。先生一人一人が子供たちを気にかけていただき本当にいつもありがたく思います。来年度も親子ともどもよろしく願いいたします。

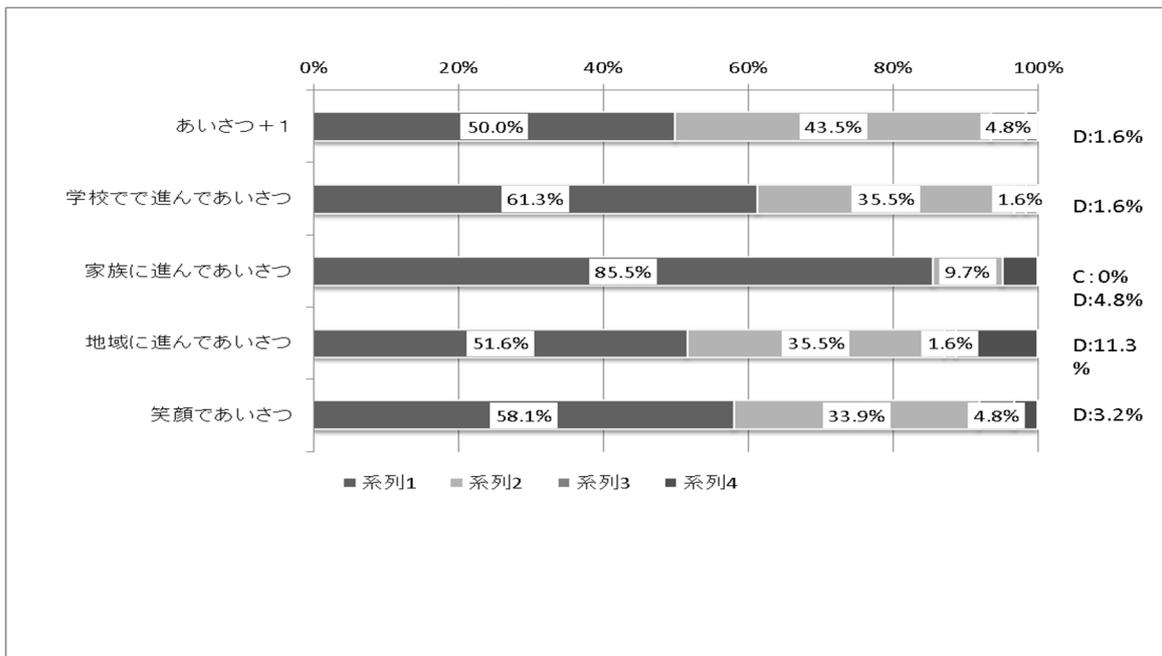
- ・プラスワン活動，小学生の子供たちにとってとても大切だと思います。いろんなことを吸収して考えてほしいです。
- ・まずあいさつ自体を行っていない先生もいます。笑顔もなくがっかりしました。
- ・サポーターについて一年生のサポーターについてくらいしか知らない人が多いのではないのでしょうか。
- ・いつも先生方の熱心で温かなご指導に感謝しています。子供たちがたくさん触れ合える活動をサポートしていただいております，子供が「今日は〇〇があるんだ。」とうれしそうに学校に通う姿をうれしく思います。
- ・先生方全員と関わったことがあるわけではありませんが子供に丁寧に接していただいているように感じます。ありがとうございます。
- ・先生方はいつも元気で雰囲気が良いと思います。子供たちが安心して通えるのが1番です。いつもありがとうございます。
- ・クラスが不安定で乱れていると感じました。他の先生方に指導に入っていただいているようですがそれでは先生方の負担が増えるばかり。保護者を巻き込んでください。学校だけで抱え込まないでください。不安を感じている何かしたいと思っているのは私たちも一緒です。
- ・「優しい先生」と言うのは子供たちにとっては良いことだと思いますが昔ながらの「厳しい先生」というのも必要なのではないかと最近の子供たちを見ていて思います。最近(先生，保護者)は怒らない大人が多いのはどうなのでしょう。
- ・先生方に相談しやすい環境でした。今後も学校と家庭が連携しやすいように協力しあえれば良いと思います。

【児童アンケートより】

〈低学年〉回答数 62

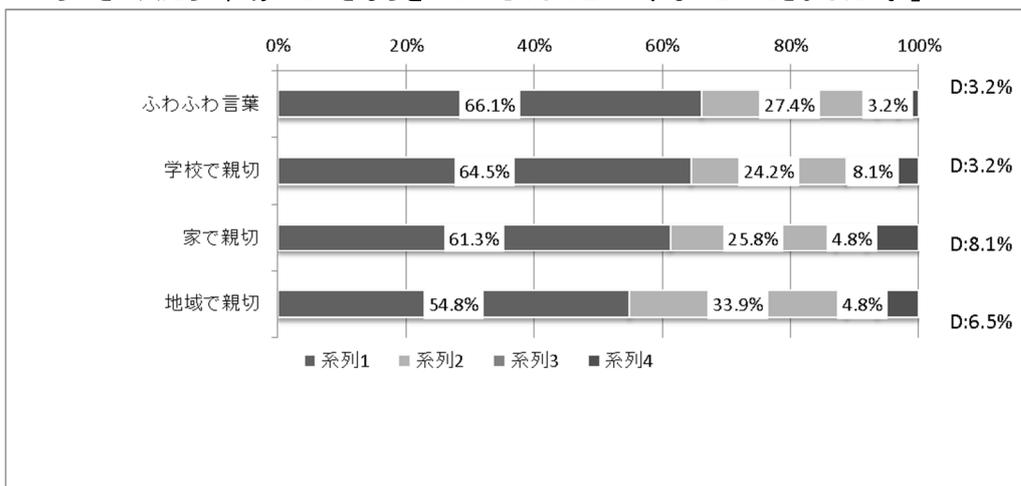
あいさつについて

- 1 あいさつ+1ができましたか。【AB：93.5%】
- 2 がっこうではすすんであいさつできましたか。【AB：96.8%】
- 3 おうちではすすんであいさつできましたか。【AB：95.2%】
- 4 ちいきの人たちにすすんであいさつできましたか。【AB：87.1%】
- 5 えがおであいさつすることができましたか。【AB：92.0%】



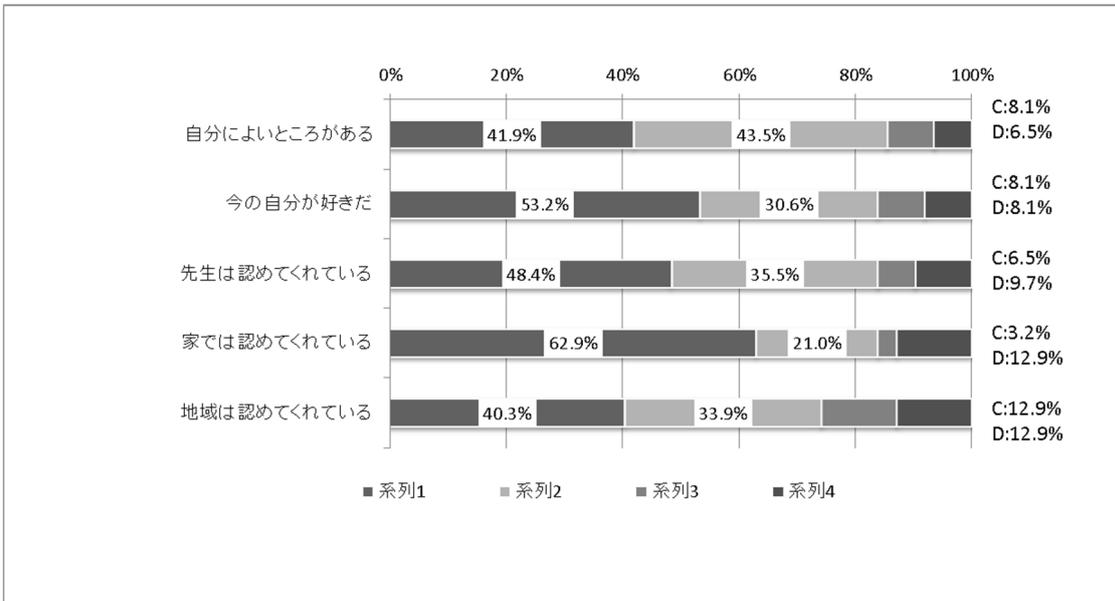
思いやりについて

- 1 「ふわふわことば」をつかうことができましたか。【AB：93.5%】
- 2 がっこうではあいてのきもちをかんがえてしんせつにすることができましたか。【AB：88.7%】
- 3 おうちでは、あいてのきもちをかんがえてしんせつにすることができましたか。【AB：87.1%】
- 4 ちいきの人たちに、あいてのきもちをかんがえてしんせつにすることができましたか。【AB：88.7%】



じぶんのことについて

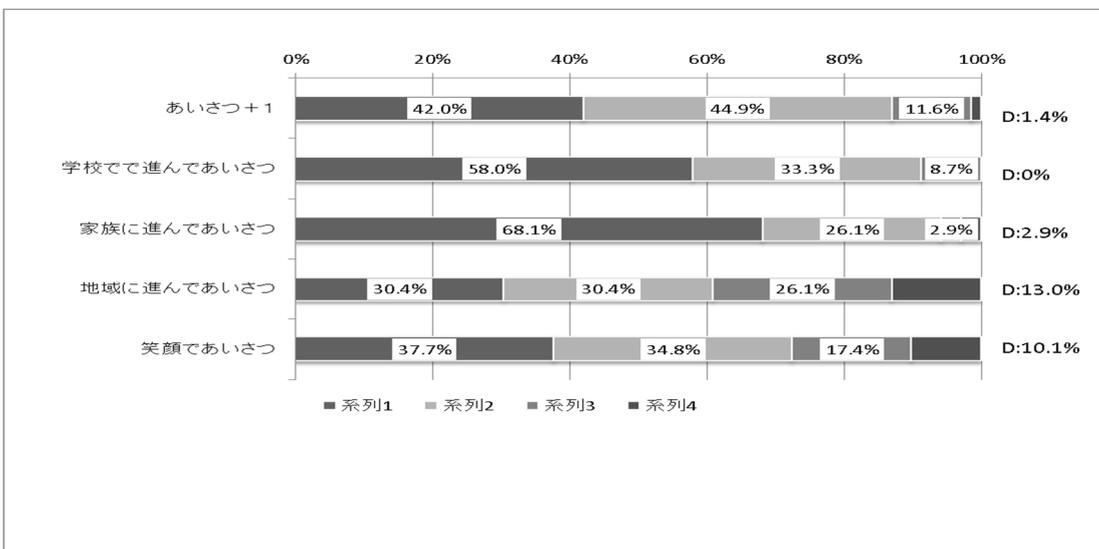
- 1 じぶんにはよいところがある。【AB：85.4%】
- 2 いまのじぶんが好きだ。【AB：83.8%】
- 3 せんせいは、あなたのよいところをみとめてくれていてとおもいますか。【AB：83.9%】
- 4 おうちのひとは、あなたのよいところをみとめてくれていてとおもいますか。【AB：83.9%】
- 5 ちいきのひとは、あなたのよいところをみとめてくれていてとおもいますか。【AB：74.2%】



〈中学年〉回答数 69

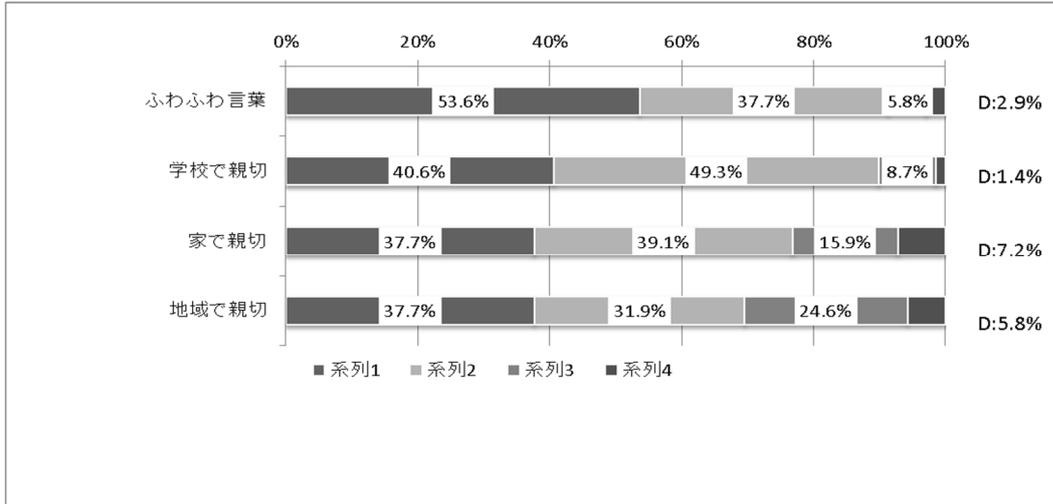
あいさつについて

- 1 あいさつ+1ができましたか。【AB：86.9%】
- 2 学校では進んであいさつできましたか。【AB：91.3%】
- 3 家族に進んであいさつできましたか。【AB：94.2%】
- 4 地域の人たちに進んであいさつできましたか。【AB：60.8%】
- 5 笑顔であいさつすることができましたか。【AB：72.5%】



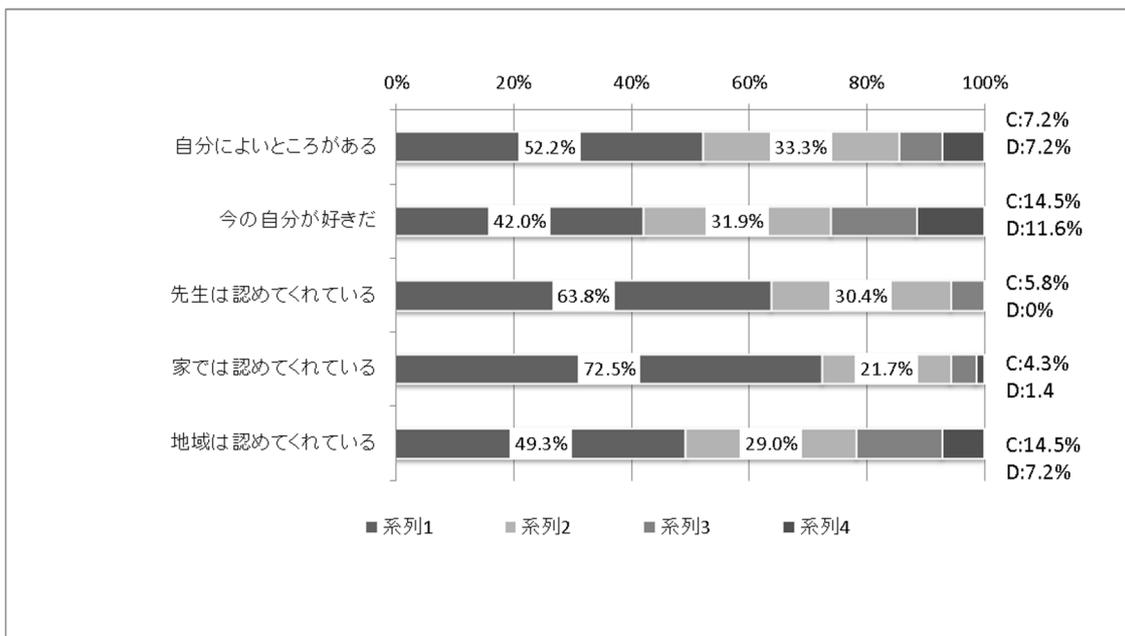
思いやりについて

- 1 「ふわふわことば」を使うことができましたか。【AB：93.5%】
- 2 学校では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：89.9%】
- 3 家では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：76.8%】
- 4 地域の人たちに、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：69.6%】



自分のことについて

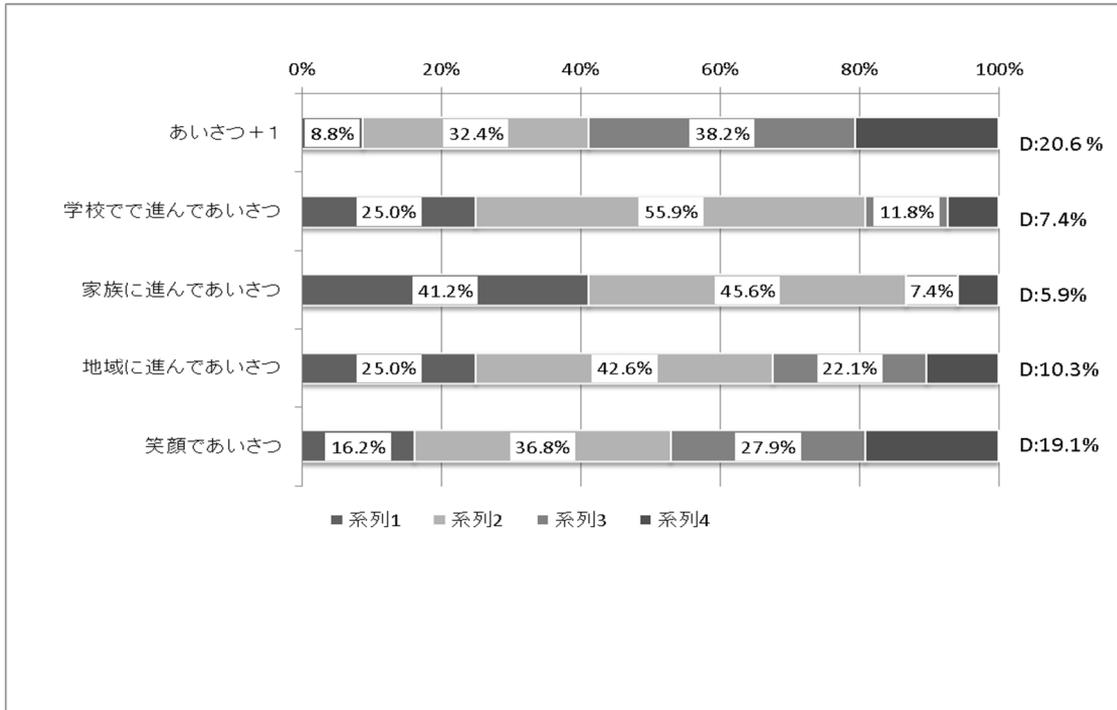
- 1 自分にはよいところがある。【AB：85.5%】
- 2 いまの自分が好きだ。【AB：73.9%】
- 3 先生は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：93.4%】
- 4 おうちの人は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：94.2%】
- 5 地域のひとは、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：78.3%】



〈高学年〉回答数 68

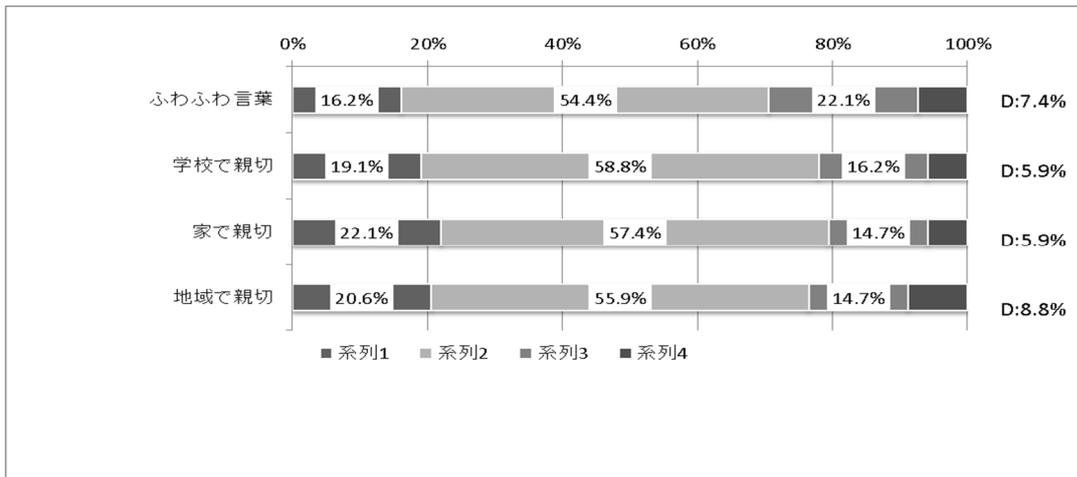
あいさつについて

- 1 あいさつ+1ができましたか。【AB：41.2%】
- 2 学校では進んであいさつできましたか。【AB：80.9%】
- 3 家族に進んであいさつできましたか。【AB：86.8%】
- 4 地域の人たちに進んであいさつできましたか。【AB：67.6%】
- 5 笑顔であいさつすることができましたか。【AB：53.0%】



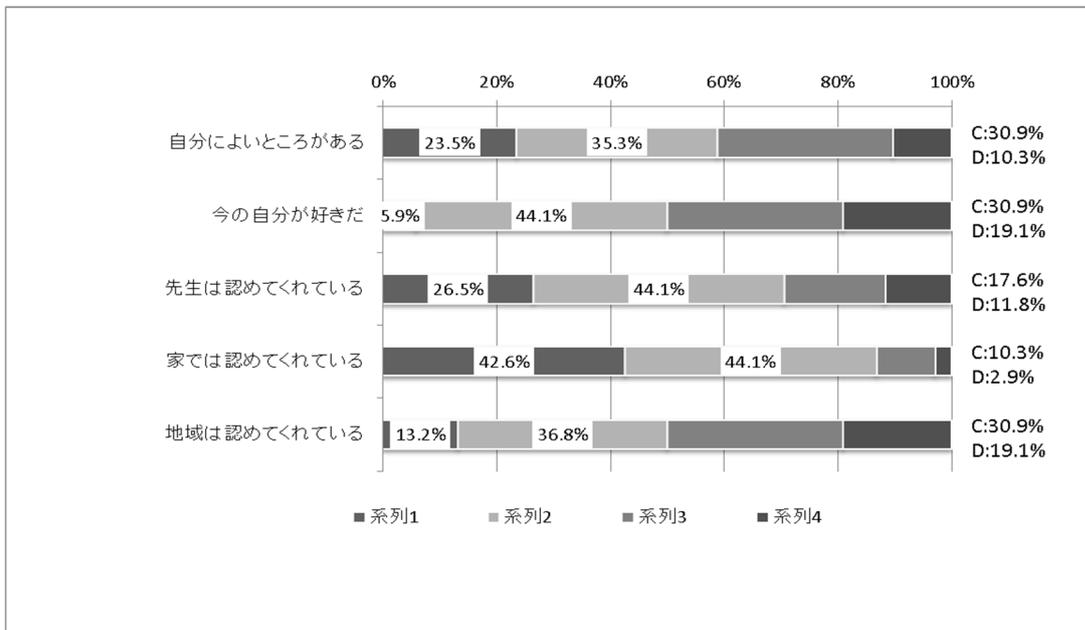
思いやりについて

- 1 「ふわふわことば」を使うことができましたか。【AB：70.6%】
- 2 学校では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：77.9%】
- 3 家では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：79.5%】
- 4 地域の人たちに、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：76.5%】



自分のことについて

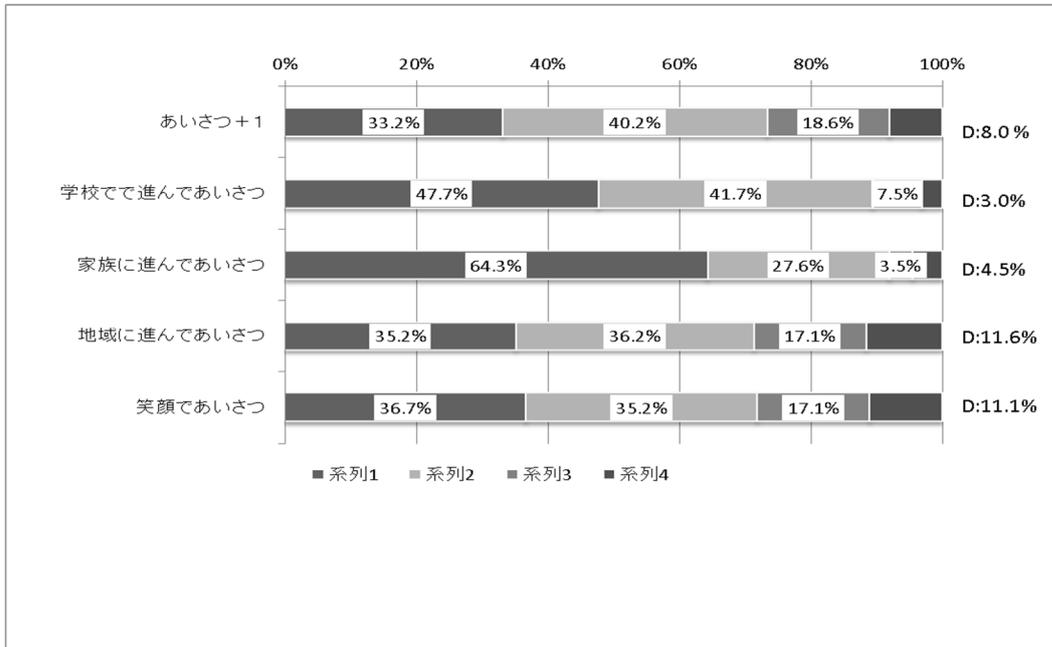
- 1 自分にはよいところがある。【AB：58.8%】
- 2 いまの自分が好きだ。【AB：50.0%】
- 3 先生は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：70.6%】
- 4 おうちの人は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：86.7%】
- 5 地域のひとは、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：50.0%】



〈全体〉回答数 199

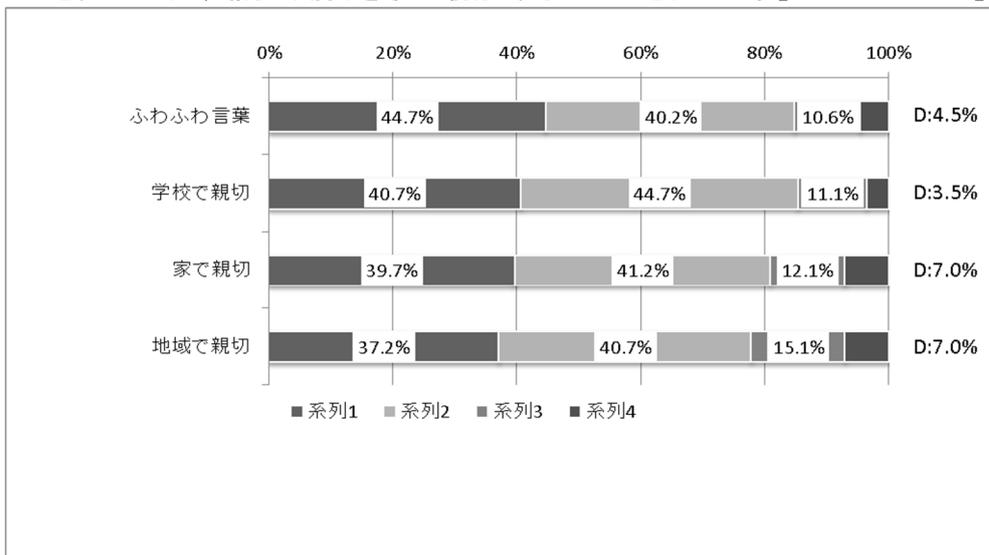
あいさつについて

- 1 あいさつ+1ができましたか。【AB：73.4%】
- 2 学校では進んであいさつできましたか。【AB：89.4%】
- 3 家族に進んであいさつできましたか。【AB：91.9%】
- 4 地域の人たちに進んであいさつできましたか。【AB：71.4%】
- 5 笑顔であいさつすることができましたか。【AB：71.9%】



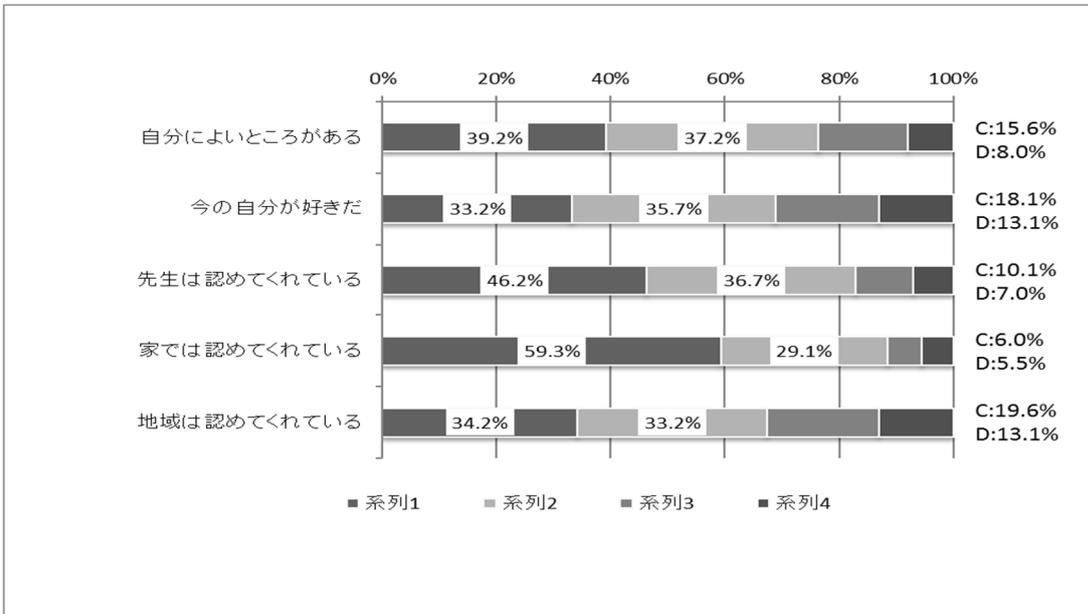
思いやりについて

- 1 「ふわふわことば」を使うことができましたか。【AB：84.9%】
- 2 学校では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：85.4%】
- 3 家では、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：80.9%】
- 4 地域の人たちに、相手の気持ちを考えて親切にすることができましたか。【AB：77.9%】



自分のことについて

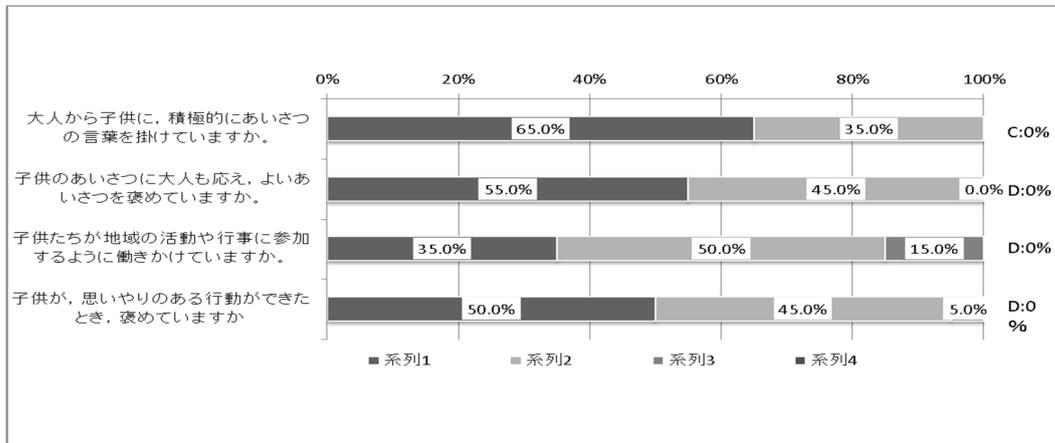
- 1 自分にはよいところがある。【AB：76.4%】
- 2 いまの自分が好きだ。【AB：68.9%】
- 3 先生は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：82.9%】
- 4 おうちの人は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：88.4%】
- 5 地域の人は、あなたのよいところをみとめてくれていると思いますか。【AB：67.4%】



【地域アンケートより】回答数 20

1 地域でのほたらきかけについてお尋ねします。

- ① 大人から子供に、積極的にあいさつの言葉を掛けていますか。【AB：90%】
- ② 子供のあいさつに大人も応え、よいあいさつを褒めていますか。【AB：90%】
- ③ 子供たちが地域の活動や行事に参加するように働きかけていますか。
【AB：85%】
- ④ 子供が、思いやりのある行動ができたとき、褒めていますか。【AB：90%】



地域アンケート【記述】から

あいさつについて

- ・児童からのあいさつがあっても、多くの大人からの積極的なあいさつが少ないと見受けられます。地域社会で児童を育てる心構えが必要です。
- ・定期総会時に校長先生からいただいた学校目標を集会所に掲示中です。町内全体が高齢者が多いので、あいさつは積極的に行っている感じです。ただし子供の数が少なく(子供会は解散)日中ほとんど会う機会がないので、成果を示すことができません。申し訳ございません。
- ・子供に出会うチャンスがいたって少なく評価する事はあまり適当でない気がしますが、そんな時は相互に元気に声掛けしていました。
- ・子供たちは積極的にあいさつをしています。
- ・地域で取り組んでいたこと自体知りませんでした。しかし従来から将監団地内は積極的にあいさつをしているように思えます。自然にあいさつを交わしているのではないのでしょうか。
- ・マモライダーの際に積極的にあいさつをする。あいさつが返ってくるのは半分以下です。
- ・道中で会ったときに声掛けをしていました。
- ・老人クラブは三世代交流会あるいは児童館事業の支援及び小学校(3年生)の交流会を通じて子供たちと接する機会も多く、比較的良い方向にあると思う。
- ・地域として取り組んでいるかどうかは認識していない。個人的には近所はもちろん、道路歩行中でも頭を下げるとそれとなくあいさつのシグナルを送っている。それなりに成果が出ている。
- ・家庭の中でどう取り組んでいるかが一番大事かと思います。私は他人の子供に気軽に積極的に話しかける事はしていません。変なおじさんに間違われるから。多分家庭でも知らない人から声をかけられたら「離れなさい。逃げろんだよ。」と教育されていると思います。知人の子供には積極的に話している。その子供たちはしっかりあいさつを返します。学校の事や家庭のことも時々話してくれます。
- ・回覧を届けに行く時やゴミ捨ての際に、あいさつプラスワンの声掛けをするように取り組んでいました。
- ・老人会(将寿会)で年1回町内会で年1回と、町内会で子供たちと育成会で三世代交流会とランドゴルフや芋煮会等を開催し交流を図っています。
- ・子供たちの登下校の際や民生児童委員をして担当地区の訪問活動の際に、日常的に声掛けに努めています。ここ数年公園や屋外で遊ぶ子供たちが増えあいさつを交わすなどの地域の人たちとの交

流も増えてきたように見受けられます。子供たちの素晴らしい笑顔や元気な声に励まされ、高齢化の進む町内にも活気と笑顔とやる気が増えてきたように思われます。

- ・特に取り組んでいる事はありません。
- ・世代間交流会にて取り組んでいます。また将寿会(13丁目老人クラブ)での行事であいさつプラスワンの運動を紹介しています。
- ・マモライダーで巡回時以外でも登校時下校時にもあいさつの言葉をかけるようにしていますが、普段は用心のためか声が小さいことが多いようである。
- ・子供の良い行動について褒めるとともに帰りの会などでみんなに紹介していることで他の子供たちにも良い影響を及ぼしている。
- ・子供の良い行動について迎えに来た親や連絡ノートなどで伝えるようにしていることで家の人からも褒めてもらっている。

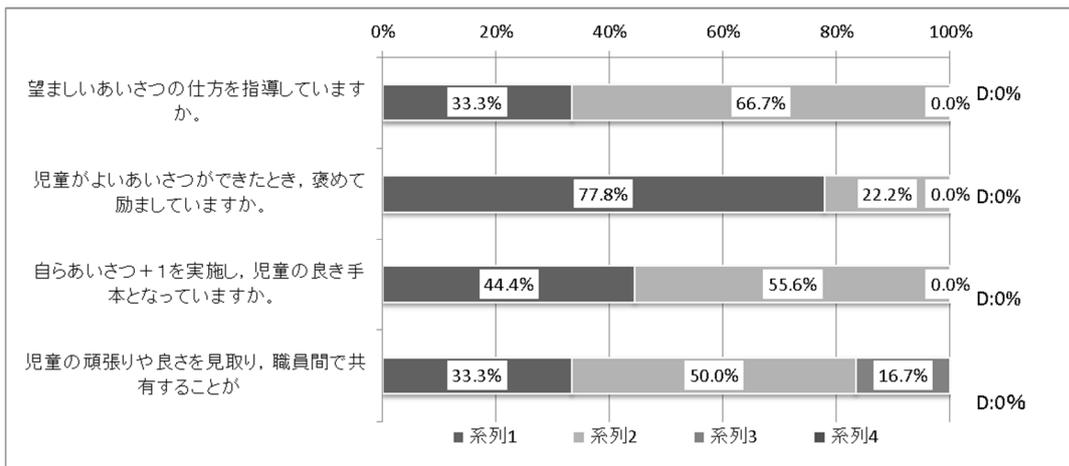
思いやりについて

- ・町内会及び福寿会(敬老会)を通じて、児童館芋煮会夏のラジオ体操、公団の花壇整備等で児童との交流及び育成を行っています。しかし親が大人の交流に垣根を作る傾向があるのではないかと感じられます。
- ・出会うチャンスが少ないので評価はできません。子供たちはあいさつする及び元気に参加する気持ちはいっぱいあると感じました。
- ・老人クラブと子ども会育成会、3世代交流会並びに西児童館が主催する行事に積極的に参加している。町内では子供たちも積極的にあいさつをしています。
- ・子供が少ないので皆孫のように接しています。
- ・町内集会所への花壇の植え替え町内会夏祭りへの参加なかなか積極的に参加しているようです。
- ・地域での活動の声掛け。
- ・このことについて改めて対策はとっていない。が、要は大人と子供たちとの接点をいかに多く持つかにかかってくると思われる。町内会の動きがいまひとつ。町内会、PTA、老人クラブが一体となつての協議が必要かと思えます。
- ・サロンを開いていますが子供には自由にさせている。家庭や学校では見られない言動を見ている。今の子供は家庭や学校においてかなり縛られた言動を余儀なくされているのかなと思うことがたくさんある。自由がないように見えるそれが反発としてサロンでは本音が出ているといつも思っている。でも中には親切で思いやりがありきっちりあいさつをする子供もいる。先生方も色々と神経を使いご苦労されていると察します。我々の時代とは社会や教育が大きく変わり現代っ子を地域(高齢者)で主題の評価目標に向かって取り組む事は大きなギャップがある。サロンを通して上下関係順番、あいさつ、清掃などを教えています。追伸、子供はお腹を空かして帰ってくる。サロンでは簡単なスープなどを提供しています。もちろんアレルギーについても話してから食べさせています。

【職員アンケートより】 回答数 19

1 児童のあいさつを改善する取り組みについて

- ① 望ましいあいさつの仕方を指導していますか。【AB：100%】
- ② 児童がよいあいさつができたとき、褒めて励ましていますか。【AB：100%】
- ③ 自らあいさつ+1を実施し、児童の良き手本となっていますか。【AB：100%】
- ④ 児童の頑張りや良さを見取り、職員間で共有することができましたか。【AB：83.3%】



2 児童の思いやりのある言葉遣いや行動に向けた取り組みについて

- ① 思いやりのある言葉（ふわふわ言葉、敬語の使い方等）について指導していますか。【AB：94.4%】
- ② 児童に思いやりのある行動が見られたとき、褒めて励ましていますか。【AB：94.5%】
- ③ 思いやりのある言葉遣いや行動について、児童の良き手本となっていますか。【AB：94.4%】
- ④ 児童の頑張りや良さを見取り、職員間で共有することができましたか。【AB：88.8%】

